

# 研修視察報告

## 1 参加大会等名または視察研修を行った館名

参加大会名：第111回全国図書館大会 愛媛大会

## 2 期日・期間

令和7年10月30日(木)～10月31日(金)

## 3 派遣者の所属・氏名

与論町立図書館 町 尚美(大島支部)

## 4 研修の目的

「図書館が 彩る未来 伊予路から」という大会テーマのもと、図書館としてどのような「学び」を提供し、地域での人々の「つながり」や「かかわり」を創出できるのか、先進的な活動を行っている図書館の事例に触れ、これからの図書館が担うべき役割や新たな可能性について学ぶ。

## 5 研修内容

【1日目(10/30)】全体会(記念講演) 記念講演・トークセッション

「読むこと 書くこと 生きること」

講師：白川 密成氏(四国八十八ヶ所霊場第57番札所栄福寺住職)

高橋 久美子氏(作家, 作詞家)

田丸 雅智氏(ショートショート作家)

【2日目(10/31)】分科会(第1分科会・公共図書館)

テーマ：「社会教育機関としての公共図書館の可能性～学び合い、共に愉しむ場を目指して～」

基調講演：青山 鉄兵氏(文教大学人間科学部 准教授)

「社会教育機関としての公共図書館の役割を考える視点」

基調講演：若松 進一氏(人間牧場 牧場主, 年輪塾 塾長)

「4つのコミュニティでウェルビーイングに生きる」

クロストーク：「社会教育の可能性」

青山 鉄兵氏×若松 進一氏

事例報告：大道 剛氏(佐川町立図書館 地域プロジェクトマネージャー)

「佐川町立図書館さくとで育まれる学び合いのサイクル」

事例報告：上杉 朋子氏(真庭市図書館振興室・中央図書館 課長補佐(司書))

「〈あそび〉から生まれるみんなの図書館」

事例報告：蔦木 伸一郎氏(たんば社会教育士コミュニティ 代表, 特定非営利活動法人

丹波ひとまち支援機構 スタッフ)

「社会教育×図書館でできること—図書館を拠点にした市民協働の実践」

## 6 所見

1日目の全体会では、学校・家庭・地域の連携による社会全体を通じた多様な人々のための読書環境の整備と新しい読書スタイル(電子書籍やLLブック・大活字本など)や、誰もが読書に触れ合える場所作りが今後の図書館の課題になってくると再認識できました。2日目は、社会教育施設としての視点から図書館の可能性や在り方について学びました。図書館だからこそ持てる「居心地」「中立性」「情報の多様性」が居場所としての価値があることや、本を手にする前にある利用者の興味・関心を様々な角度からリサーチし、イベント等に反映させていくことが重要だと感じ、今後の館の運営に役立ていきたいです。

結びに、このような機会をいただきましたことに、感謝申し上げます。